

DIRECTED BY HIROSHI SHIMIZU SCREENPLAY BY DANKAN



生きな!!

第51回ロカルノ国際映画祭コンペティション部門正式出品作品

監督 ● 清水浩 脚本 ● ダンカン 製作 ● バンダイビジュアル・TBS・TOKYO FM・日本ヘラルド映画 / オフィス北野
配給 ● 日本ヘラルド映画・オフィス北野 プロデューサー ● 森昌行・拓殖靖司・吉田多喜男 協力プロデューサー ● 濱名一哉・古川一博・坂上直行 原案 ● 中原文夫
小説すばる「不定期バスの客」 音楽 ● MAYA ラインプロデューサー ● 小宮慎二 撮影 ● 柳島克己 照明 ● 高屋敷 美術 ● 磯田典宏 録音 ● 武道
編集 ● 太田義則 記録 ● 松澤一美 キャスティング ● 吉川威史 助監督 ● 大野伸介 製作担当 ● 山本章 [URL] <http://www.trans.or.jp/OFFICE-KITANO>
ダンカン 大河内奈々子 尾美としのり 左右田一平 温水洋一 グレート義太夫 岸博之 三橋貴志 砂丘光男 香木みさよ 小倉一郎 石田太郎 村野武範

STARRING BY DANKAN NANAKO OKOUCHI TOSHINORI OMI IPPEI Souda YUICHI NUKUMIZU GIDAYU GREAT



HIROYUKI KISHI TAKASHI MITSUHASHI MITSUO TOGIOKA MISAYO HARUKI ICHIRO OGURA TARO ISHIDA TAKENORI MURANO

オフィス北野製作・配給 北野武作品に続く第2弾!

「キッズ・リターン」以来北野武作品を自社で配給してきた「オフィス北野」が、いよいよ映画製作・配給会社としての側面を確立するため、世に送りだすのがこの作品「生きない」だ。今回はたけし軍団のダンカンが自らオリジナル脚本を書き上げ、主演もしている。監督には「ソナチネ」以来、北野組の助監督として作品を支えてきた清水浩が抜擢された。その演出は大胆かつ緻密な省略法を成して、また一人日本映画界に才能あふれる若手監督を輩出したことを証明している。

天候不順の沖縄ロケ!

撮影は'98年2月2日に全編沖縄でクランクインし、3週間で撮りきるという強行スケジュールで望んだ。この時期の沖縄は天候が定まらず、実際撮影中晴天だったのは数日しかなかった。しかし現場の方は「清水のためならば」と集まった北野組のメインスタッフに支えられ、掘りこぼすこともなくクランクアップした。



ヒロイン・大河内奈々子!



キャスティングはテレビ界、小劇団他から個性的なキャラクターを持った俳優が集められた。その中でヒロインの「美つき」役に抜擢されたのが、大河内奈々子だ。昨年から「ルーズソックス」、「ズッコケ三人組 怪盗X物語」など、映画づいては一人だけパスツアーの本当の目的(集団自殺)を知らずに参加する、「強い意思を持った女の子」を演じている。

俯瞰から見つめる カメラワークの視点!

「生きない」ではほとんどのシーンでカメラポジションを俯瞰(ふかん)に設定して、撮影されている。これは清水監督の、「映画に登場する人物の感情やその移り変わりを、表情や芝居だけでなく人と人との間に流れる空気を俯瞰から撮ることで表現できないかと思った」という演出意図にもとづいている。



音楽にMAYAを抜擢!

音楽にはフォルクローレ(南アメリカのアンデス地方に住むインディオの民族音楽)を使用したいという清水監督からの希望で、フォルクローレを演奏するグループMAYAが抜擢された。「明るく楽しそうなのにどこか悲しい」旋律が、「生きない」の登場人物にダブリ、とても映画的な効果を上げている。



生きない!

1997年12月30日・那覇空港。2泊3日の沖縄初日の出ツアーの添乗員・新垣(ダンカン)は最後のツアー客八代(温水洋一)を待っていた。すでにバスに乗り込んでいるツアー客も、その数はやけに少ない。出発直前1人の女の子が新垣に声をかけてきた。美つき(大河内奈々子)だ。ツアーに参加するはずだった叔父さんの代わりにやってきたのだ。こうして美つきを加えてたった、13人のバスツアーが始まった。じつはこのツアー、参加者たちが多額の借金を抱える保険金目当ての自殺ツアーだったのだ! ただし美つきを除いて…。

その美つきの提案で、バスの中で「しりとり」を始める乗客たち。おしゃべりでやたら人の借金のことを知りたがる伊藤(村野武範)、女

に騙され借金を背負った教師の木村(尾美としのり)、病弱な子供を持ちながらキャンブルに走った神田(小倉一郎)、バブル時代においしい思いをし過ぎた野口(石田太郎)、おやじギャグを飛ばしまくって町工場の社長小沢(左右田一平)、不倫の関係にある運転手の田口(砂丘光男)とバスガイドの福田(春木みさよ)、宗教家の能勢(グレート義太夫)、設計技師の望月(岸博之)、そして小松(三橋貴志)。みなそれぞれの思いを胸に、バスは宿泊先の



ホテルに到着した。

その日、最後の夜を楽しもうと、沖縄の街に繰り出すツアー客たち。彼らはいつのまにか同じ目的意識のためなのか、友情のようなものでつながり始めていた。そんな彼らを自覚がないと叱責する新垣。「どうせ明日死ぬんじゃないかよ!」と思わず美つきの前で叫んでしまう木村。

翌日、乗客たちはなにげともなかったかのようにバスに乗り込もうとしていた。ただし美つきを除いては…。新垣に薬で眠らされた美つきの姿を見て、彼らは死ぬことに疑問を感じ始めていた。しかしそんな彼らの気持ちを置き去りにするかのようにはバスは動き始める。まるで棺桶が運ばれていくかのように…。

2月のアカデミー-2は、1998年日本映画の収穫!

- ① 2/1(月)~7日(日) 「CURE/キュア」 監督・岡本豊次 主演・役所広司
- ② 2/8(月)~14日(日) 「HANA-BI」 監督・岡本 主演・北野武 主演・岸本加代子
- ③ 2/15(月)~21日(日) 「生きない」 監督・清水浩 脚本・北野 主演・ダンカン
- ④ 2/22(月)~28日(日) 「がんばっていきまっしょい」 監督・岡本豊次 主演・一路・製作・周防正行

上映時間 11:30/2:00/4:30/7:10(入替制・上映10分前開場・4作品共通) 当日一般¥1300/学生¥1100/シニア¥1000

★毎週金曜レディースデー ¥900 (女性の方)

JR管内駅に徒歩3分・ヤマギワ向かい
関内アカデミー-2
TEL 045 (261) 8913